

172 一般質問 の視点



一般質問とは、議員が市の行政全般にわたって、市長や教育長等に方針・見解・事実の説明・報告などを求めるものです。今定例会では、28人が登壇し、172の質問で論戦を繰り広げました。その中から一部抜粋して掲載します。

二次元コードを読み取ると、その議員の一般質問の動画を視聴できます。



記録的な異常高温と
少雨による渇水対策は
橋本 洋一（久比岐野）



問／令和5年の夏は、梅雨明けから記録的な異常高温と少雨による渇水・干ばつが続いたが、農業被害、市民生活への影響、市の対応はどうか。

答／上越市では、異常高温と渇水により、水稲・園芸作物、畜産のそれぞれで被害が発生した。このうち水稲は、約70ヘクタールの水田で稲の枯死などの被害が発生しているのをはじめ、未熟粒や生育不良が見られるなど、収量や品質にも影響が及んでいる。このような状況の中で、市では農業被害の軽減を図る緊急対策として、消雪用井戸からの給水や浄水場井戸水の放流などを実施するとともに、かん水用ポンプの購入費や燃料代などの一部を補助する対策を講じてきた。また、乾燥により深い亀裂が入った水田については、来年の耕作に影響が出ないよう、速やかな復旧支援に繋げていくため、関係機関の協力を得ながら現地調査を進めている。なお、市民生活に直接影響する水道水の供給については、ダム貯水が給水に影響のない量を確保しており、安定した供給が行われている。



水田の被害状況



戦国最強の山城
「春日山城」の復元！
小林 和孝（政新クラブ）



問／インパクトのある「戦国最強の武将『上杉謙信公』の魂が眠る戦国最強の山城『春日山城』の復元」というテーマで観光庁のレガシー形成事業に採択されたが、どのような内容で行われるのか。

答／全国の山城における活用事例調査や、旅行者目線でのニーズ調査、文化財保護法や建築基準法など関連法令等の調査を行うほか、春日山城の復元について、百年後の春日山城のあるべき姿のイメージとその整備計画が示されるものと聞いている。春日山城の復元については、資料が残っていないことから、植林された杉の伐採や、土塁や堀の復元が想定される。

問／この事業の課題は何か。

答／観光庁の事業ではあるものの、「史跡指定地」における具体的な復元など、現状変更に関し文化庁との協議、許可が簡略化できるものではないということである。

問／この事業と当市の通年観光計画の関係は。

答／レガシー形成事業が「史跡指定地」のハード事業であるのに対し、通年観光計画では春日山駅や埋蔵文化財センター周辺なども含めた広域な区域を対象として、回遊を促すためのソフト事業も検討する。



謙信公大通りから春日山城を臨む